

「成績評価における客観的指標の算出方法について」

学業成績は、授業時数の5分の4以上出席し、かつ試験の成績、レポートの提出、課題の発表及び平素の学習状況を総合判断して評価している。評価は、 $A \cdot B \cdot C \cdot D$ をもって表し、 $A \cdot B \cdot C \cdot D$ を合格とする

(Aは80点以上、Bは79点～70点、Cは69点～60点、D59点以下。)

成績評価における客観的指標の算出方法は、履修した各科目の成績評価基準となる素点を合計し、履修した総科目数で割った値を基にして順位を算出する。

(参考)

学則

(単位の授与)

第10条 (1) 単位取得の認定は、当該科目の単位として定めた授業時数の5分の4以上出席し、かつ試験の成績、レポートの提出、課題の発表及び平素の学習状況を総合評価して単位を与える。

(2) 評価は、 $A \cdot B \cdot C \cdot D$ をもって表し、 $A \cdot B \cdot C$ を合格とする。

(Aは80点以上、Bは79点～70点、Cは69点～60点、D59点以下とする。)